
YUIが悪と闘ったら 1 1

pokemomtyan

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

YUIが悪と闘ったら11

【Nコード】

N2947T

【作者名】

pokemomtayan

【あらすじ】

リビアに向けて進行する最中に敵が来る。

もしもYUIが(前書き)

何か書いてください。

もしもYUIが

YUI達は翌朝に起きて、海軍の船に乗った。敵地のリビア本国を目指して出港する所である。YUI（朝の6時に船が出るわね。）
ケイト（見て、YUI！私は女海賊の格好をしたのよ）（YUI）
動きやすそうだし、悪くないね。）ケイト（でしょ。）堂本剛（いや〜毎度！俺はいつも朝が早いから、慣れてるけど2人は眠そうやな。）YUI&ケイト（ちよつとね。）神崎昴（皆さん。おはようございます。）YUI（神崎さんは朝は早いですか？）神崎（いや〜。あのアホ缶の秘書をやる前は、高校も遅刻したりサボったりの繰り返しだったので、正直最初はきつかったです。今は慣れました。）その時、来なくて良いのに菅直人が来た。菅（イヤイヤイヤ〜。皆さんお揃いで。俺様も戦力として加勢してやる。菅謝しろよ。か〜んかんかんかん！）菅は上を見て笑った。YUI（あつ！カモメ！）ケイト（本当だ）堂本（昔爺ちゃんの家で食った事あらは）（神崎（嘘でしょ笑）菅（こら〜怒！無視をするな！貴様等は俺様の存在すら無に等しいと判断した菅！）YUI（八八八。長芋！カモメに餌やってみろ！可愛いぞ。）YUIは餌を差出した。菅（いらんぞ！ってかこの・・・餌って、俺様が今日、甲板で寝ところがつて食べようとしていた、よっちゃんイカじゃないか！YUI・・・俺様の好物をよくも・・・不埒にもカモメの餌にするとは・・・この非国民め〜恥を知れ叫！）YUI（八八八。非国民って・・・お前等、反日の民主党議員達がそうだろ笑。そら、カモメ！餌食べる！）YUIはカモメに餌を投げた。堂本（可愛いな〜癒される。因みに、よっちゃんいかをすり潰した奴と合わせて、お前のアルバムから家族写真を抜き取って、一緒にすり潰したの上手い事食べてるは〜。そら食え！）菅（かかかか〜ん叫！お前・・・何処から、写真を抜き取った！）神崎（八八八。僕ですよ。官邸から写真を抜き取って、こつこつという日の為だね。）ケイト（カモメにとって、カルシウムも取

れるしね。(YUI(長芋。良かったな。珍しく人様・いや・カ
モメ様の役に立って。)(一同(八八八八。)(菅(俺様の存在って・
・)遅れてきた、葉加瀬太郎が来た。葉加瀬(ヨホホホホ。おは
ようございます！良いお天気ですね！)YUI(遅いよ葉加瀬さん。
何してたの？)葉加瀬(ヨホホホホ。私お腹がすいてましたので、
昨日の残りの豚の丸焼きを食べていました。レンジでチンしたら、
油が再発して旨かったです。ヨホホホホ。)(ケイト(良く食べれ
るね・朝から。)(葉加瀬(ヨホホホホ。実に美味しかったです。
所でYUIさん、ケイトさん食後のティータイムのついでにパンツ
を見せてくれませんか？)YUI&ケイト(見せるか！)葉加瀬(痛
い・おやおや手厳しい。)(神崎(葉加瀬さん。僕は因みに今は
ケイトさんのパンティーを帽子代わりに被っています。)(ケイト(シ
ャラップ叫！)ケイトはビンタを神崎に食らわした。神崎(あゝ
気持ち良く目が覚めた。)(YUI(呆れた。)(その時、楽曲が鳴り
始めた。ケイト(進軍が始まった。)(中央艦隊の船から、指揮を取
るブライアン提督が顔を出した。ブライアン(我等はイギリス海軍
の正義の名の下に、悪逆の徒！カダフィを討ちに行く！全艦隊進撃
開始！)兵士(うおー！)船は進み始めた。YUI(此れから、ま
ず、向かうのはジブラルタル海峡ね。)(ケイト(エエそうよ。とり
あえず、モロッコとスペインの間のジブラルタル海峡を渡って、地
中海に入りモロッコで増援部隊を収集して、リビアに侵攻ね。また、
エジプトにも進軍をするから、紅海の付近にも守備の兵を配置させ
るわ。)(堂本(けど・あっこは、海賊海峡とも言われていて、海
賊に邪魔されへんか？エジプトとサウジアラビアの間にあるけれど、
難しいのと違うのか？)ケイト(大丈夫。昨日、極秘で軍を進めた
から海賊も手を出せないよ。)(神崎(それは安全ですね・)YU
I(とりあえず、航路は安全ね。)(葉加瀬(まあ、案外早く片付く
かもしれませんね。)(一同は青い空を眺めた。しかし、一同は知ら
なかった。これが長い戦いの序章にすぎないと・。2日後、ジブ
ラルタル海峡を渡り、モロッコで増援を収集した一向は、リビア本

国に向けて舵を進めていた。YUI（明日には乗り込めるのね・・・）
ケイト（武者震いがしてくる。）菅直人（俺様も武者震いが・・・は
つくしょん！）YUI（鼻水を垂らすな・・・汚いな。お前のは日頃
の不摂生がたたって、風邪をひいたんだ。）菅（それと+船酔いが・
うつぶ。）菅は青ざめた。YUI（おい・・・トイレ行って来いよ。
）菅（だ・駄目だ。我慢できない・・・YUI！スマン！）菅はYU
Iのスカーフを持って、吐いた。YUI（お・お前・・・怒。）菅（
は〜すっきりしたぞ。ありがとなYUI・・・）菅は口の周りのカス
をスカーフで拭いた。YUI（海にでも落ちる叫！）YUIは菅を
高く蹴り、海に弾き飛ばした。菅（これが本当の！缶蹴りだよね〜
！）菅は海に落ちた。YUI（お風呂に行つて、着替えてくるね。）
ケイト&神崎（お気の毒様・・・）YUIは風呂に入り、服に着替え
た。YUI（あ〜すっきりした。）堂本（YUI。大変や！）YU
I（どうしたの？）葉加瀬（ヨホホホホ。前方に無数の船が見え
ます。）YUIは甲板に出た。YUI（ケイト！あれは？）ケイト
（分からない？）その時、兵士が言った。兵士（敵襲！海賊船だ！
ブライアン（戦闘準備だ！）YUI（何で？地中海に海賊船が？）
葉加瀬（ヨホホホホ。それにしても数が多すぎますね。）ケイト
（一体、どういう事？）ブライアン（解りません？あれは紅海にい
る海賊団ですよ・・・数が多すぎる。）神崎（何でだ・・・）堂本（し
やあない。あの海賊共はイギリス海軍に任して、俺等は後方で待機
しとこう。）YUI（各々は武器を持って。）ブライアン（極秘だ
つたはずなのに・・・まるで我らの進軍が筒抜けでは無いか！）葉加
瀬（あれは！）葉加瀬は指を差した。ケイト（な・何で海賊船にあ
いつが！）YUI（組んでいたのか。）堂本（狡猾やな・・・）海賊
船の中央に立った男が海軍に向かって言った。セイフ（ジャーハハ
ハハ。ご機嫌麗しゅう、イギリス海軍共！貴様等の運命も此処まで
だ！僕ちゃんが率いるアルカイダの軍とこの海賊団の船長が相手に
なるぜ！）ケイト（やはり、アルカイダも入れての軍数か・・・）神
崎（くそー！）しかし、神崎昂は笑っていた。3日前の夜に堪坂に電

話をして、イギリス軍の行動を密告したのは彼自身であった。やべえ・・・また、笑いそうだ。神崎は笑みを殺した。ブライアン（セイフ・・・貴様！）その時、敵船からある男が出てきた。？（バホホホホ！セイフよ！俺様も名乗りをあげるぜ！）YUI（彼奴は！）^{センキョウ} 基雄（バホホホ！尖閣諸島沖で日本船に勇敢に体当たりした俺は中国では英雄と湛えられ、国から出た資金で海賊に転職してアラブ海に侵攻をして海賊を纏め！海賊王となった！）YUI（中国漁船の船長！）ブライアン（戦闘準備をはじめろ！撃て！）イギリス海軍は発砲した。セイフ（ジャーハハハ。お前等は闘うな。僕ちゃんが一人で倒す！僕に手錠をかけて、海に落とせ！）セイフはある液体を飲んだ。セイフ（うゝん。僕ちゃん、パワーアップ！）筋肉が盛り上がった。そして、セイフは海に落ちた。兵士（な・何だ？）すると、甲板を突き破りセイフが出てきて、兵士5人を大きい口で噛み砕いた。兵士（血が・・・ぎゃゝ！）セイフは笑いながら、マストを噛み砕き隣の船に投げて沈没させた。YUI^{や・やほい・}葉加瀬（あの方はハゲですね。）YUI（は？）葉加瀬（ハゲとアフロ・・・何か私にとって、対局にいますよね。）一同（呑気に言うな！）セイフは兵士を殺しまくり、船を一人で沈めていった。ブライアン（此処は俺が。何回もアラブ人とは闘ってきた！うおー！）ブライアンはサーベルを振り回したが、セイフがサーベルごとブライアンを噛み砕いた。兵士（死ぬゝ！）セイフ（基雄！アイツを出せ！YUI達が居るぞ！）YUI（斬ってやる！again斬り！）セイフは海に飛び込んだ。）基雄（お前等！海に振動を与える！いでよ！海の怪物叫！）海賊達はマストを下げて、海に振動を加えた。YUI（何だ？ちょっとマストに上がってくる！）YUIはマストに上がった。兵士（な・何だ？）すると、海面からいきなり、タコの足が伸びて兵士の3人を海に持って行った。ケイト（あれは・・・）^{まさか} 堂本兵士（撤退だ！クラーケンだ！）兵士は撤退を始めた。基雄（俺のペットだ。）セイフ（ジャーハハハ。僕の友達だ！同じタコハゲ頭だからな！）船に足が絡みつき、船や兵士が呑み込まれていった。一同（

ぎゃ〜）YUIは海面に勢いをつけて、飛び込み逃げた。YUI（
ハアハア。皆が・・・クソ！）続

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2947t/>

YUIが悪と闘ったら11

2011年5月15日16時40分発行